

算定・報告・公表制度の改善に向けた当面の取組（案）

資料 5

- 当面、電子報告の原則化、公表データの活用促進、任意報告の拡充を通じ、算定・報告・公表制度の改善を進め、事業者の自主的削減の更なる促進につなげていく。

| | 実施内容 | R3年度 | R4年度 | R5年度～ |
|------------|---------------------------|-------------------------------|---|--|
| 電子報告の原則化 | ① 電子報告システム(EEGS)の着実な整備・改善 | EEGSでの報告機能構築 | R4報告締切 ・R4報告からEEGSでの報告開始（R4年5月目途） ・EEGSの運用状況を見つつ必要な改善 | |
| | ② EEGSの周知等を通じた電子報告の原則化 | EEGSの周知 | | 電子報告率やシステム稼働状況も踏まえつつ、更なる周知や省令整備等の検討・実施 |
| 公表データの活用促進 | ① 電子報告に加え、2段階公表による公表の迅速化 | 2段階公表のルール整備（省令） | | R4報告分から、2段階公表を開始 |
| | ② EEGSにおける情報のわかりやすい公表 | | EEGSでの公表機能構築 | EEGSでのわかりやすい公表を開始 |
| | ③ 公表データやその活用方法等の周知 | 活用方法の整理 | 報告者・ステークホルダーへの周知 | |
| | ④ 算定方法の見直し | 算定方法見直しの検討（別途の検討の場にて検討し、順次反映） | | |
| 任意報告の拡充 | ① TCFD等を踏まえた任意報告様式の改善 | 任意報告様式の整備（省令） | EEGSへの反映 周知 | R5報告から、新たな任意報告様式の開始 |
| | ② 積極的な事業者の取組の評価や、社会的理解の促進 | | 国際動向も踏まえた項目の見直し | |
| | | 活用事例の創出・整理、指針の整備 | | |